

## 平成18年度バイオマス利活用優良表彰 審査委員講評

審査においては、以下の4点を総合的に勘案しています。

### 地域性

(地域の特性に応じたシステムか、計画・目標が設定されているか、地域住民の理解を醸成しているか等)

### 継続性

(バイオマス収集の効率性、施設の経済性に優れていること)

### 地域貢献性

(エネルギー自給、雇用確保等を通じた地域の活性化に取り組んでいること)

### 先進性・モデル性

(先進的な技術等を活用し、バイオマス利活用の全国的普及を推進するものであること。)

個別取組について特に評価されたポイントは以下の通りです。

## \* 農林水産大臣賞

### ・岩手県葛巻町

畜産排せつ物からエネルギー・肥料を生産することにより、バイオマス資源として利活用しつつ畜産環境保全を図るシステムを先駆的に確立し、各地の畜産バイオマス利活用のモデルとなっている点。木質ペレットの需要拡大について、公共施設での利用のみならず民間利用への支援も含めて取り組んでいる点。畜産バイオマス、木質バイオマス等地域のバイオマスの総合的な利活用を図っている点を評価した。

### ・松下電器産業株式会社

一般に広く普及している製品のパッケージにバイオマスプラスチックを使用することにより、バイオマスプラスチックの需要拡大に貢献するとともに、製品への表示を通じて消費者へのバイオマスプラスチックの認知度向上にも寄与している点。廃食用油のBDF燃料化と配送用車両への活用を地域の企業が一体となって行う取組を、地域の企業をリードして作り上げてきた点。バイオマスプラスチック、バイオマス燃料、食品リサイクルの多分野について、自社の技術開発力を活かしつつ地域との協力も図って先駆的な取組を実施している点を評価した。

## \* 農林水産省農村振興局長賞

### ・アイオーティカーボン株式会社

建築廃材等を高温炭化炉により炭化し、吸湿性・難燃性に優れた木炭を生産し、その特性を活用した生活環境保全商品を作り出す取組により、地域の他企業との連携を図りつつ、廃棄物を技術力によって付加価値の高い製品に作り替えている点を評価した。

### ・大分県日田市

生ゴミ・豚糞尿・集落排水汚泥・焼酎粕等をメタン発酵させ、発電するとともに、発酵後の残渣を肥料として活用し循環型農業の推進を図る取組や、木質バイオマス発電の立地環境整備等におい

て、地域の合意形成を図り住民の協力体制を作りながら、地域の多様なバイオマスの総合的利活用を進めている点を評価した。

#### ・株式会社アレフ

チェーン展開している外食店舗から出る食品残渣について、農家との協力により循環型食品リサイクルを行うシステムを全国的規模で作り上げていることや、廃食用油のBDF燃料化について、自治体や教育機関と協力して取り組んでいる等、食品バイオマスの利活用について、地域との連携を図りつつ、広域的・総合的に取り組んでいる点を評価した。

#### ・株式会社 バイオマスパワーしずくいし

自社の廃棄物系バイオマス（畜産排泄物）を利活用する取組の中に、他の民間事業者（食品事業者）や自治体（学校給食加工残渣）が排出する食品残渣をも受け入れ、バイオマス変換物（電力・肥料）の利用先の確保も含めて、地域全体のバイオマス利活用システムを作り上げている点を評価した。

#### ・株式会社モスフードサービス モスバーガーチェーン

コールドドリンクの持ち帰り用カップを全てバイオマスプラスチック化する国内初の取組により、バイオマスプラスチックの需要拡大に資するとともに、多くの来店客の利用を通じて、バイオマスプラスチックの普及・認知度向上に貢献している点を評価した。

#### ・三和酒類株式会社

大量に発生する焼酎粕を飼料化するシステムを畜産業者の協力体制の基に作り上げ、海洋投棄を早期に全廃し、バイオマス利活用を通じた環境対策の先駆的取組となった点。加えて、焼酎粕を原料とした高付加価値製品の開発を目指して研究を行い、環境対策に止まらない、より高度なバイオマス利活用を進めようとしている点。施設においても環境保全・景観への配慮がなされている点を評価した。

#### ・社会福祉法人光明会 障害者支援施設「就職するなら明朗塾」

廃食用油の回収、精製、販売の取組を通じて、知的障害者と地域の連携・交流を生み出すとともに、バイオマスの利活用を通じて障害者の就労・社会参加を実現する自立型ビジネスモデルの創出を模索している点を評価した。

#### ・築野食品工業株式会社

家庭や飲食店から排出される廃食用油を全国的規模で大量に収集し、各種インクや接着材の原料となるダイマー酸やモノマー酸等多様な用途がある化学製品を大量生産することにより、大量の廃食用油の高度な利活用を実現している点を評価した。

#### ・徳島県上勝町

地域通貨制度による間伐材の回収実験へ取り組んでいることや、家庭生ゴミのほぼ全量が各家庭で堆肥化される生ゴミ排出ゼロ体制を確立しているなど、地域の創意・工夫に基づく持続性のあるバイオマス利活用システムの構築に取り組んでいる点を評価した。

## \* 社団法人日本有機資源協会会長賞

### ・熊本宇城農業協同組合 健康土づくりセンター

家畜排せつ物の再生利用の取組に、家庭生ゴミや事業系食品廃棄物の再生利用を組み込んで地域の総合的なバイオマス利活用システムを構築し、綿密な分析を基に堆肥の品質確保を図りながら、農協組合員農家との協力の下、地域全体の廃棄物リサイクルに大きく貢献している点を評価した。

### ・コカ・コーラセントラルジャパンプロダクツ株式会社

飲料製品製造過程で大量に排出する残渣をメタン発酵処理し、バイオガスによる発電や燃焼熱の有効利用を行うことにより、廃棄物の大幅な減容とバイオマスエネルギーの利活用を同時に実施し、飲料生産に伴う環境負荷を大幅に低減している点を評価した。

## \* 社団法人地域資源循環技術センター理事長賞

### ・アサヒビール株式会社 西宮工場

麦粕を技術的に処理し、高品質飼料として販売することにより、工場発生廃棄物の4分の3を占める麦粕の有効利活用を図っている点。ビール製造の各工程排水を処理する嫌気設備において発生するバイオガスをコージェネレーション発電等でエネルギー源として有効利用し、工場全体のエネルギー使用量を節約している点を評価した。

### ・サザングリーン協同組合

焼酎粕に対してメタン発酵を含めた多段階の処理を行うことにより、バイオマスエネルギーを活用しながら、生飼料、乾燥飼料、化成肥料、堆肥原料と多様な製品を作り出し、発生汚泥を極力最小化して、需要を越える生成物を出さないようシステムを設計している点を評価した。

## \* バイオマス活用協議会会長賞

### ・岩手県紫波町

家畜排せつ物、食品残渣、もみ殻、間伐材等から製造した粉炭といった他種類のバイオマスを利用し良質な堆肥を製造し、町内農家に販売して環境保全型農業を推進している点。同時に、木質ペレットの製造と、需要先の拡大に取り組む等、地域のバイオマスの総合的な利活用を進めている点を評価した。

### ・全国漁業協同組合連合会

貝殻養殖廃棄物を利活用して生産した魚礁により水産資源の回復を図るという、環境保全と水産資源の回復を同時に実現する漁業者主体の取組を、全国的規模で推進している点を評価した。

### ・特定非営利活動法人 環境Uフレンズ

分別されゴミステーションに出された家庭生ゴミの回収、堆肥センターへの持ち込みといった、定期的かつ頻繁なリサイクル作業を町民主体のNPOが実施するなど、住民の力が主体となってバイオマス利活用システムが構築されている点。堆肥センターにおいて、畜産排せつ物、生ゴミ、もみ殻といった他種類のバイオマスが利用され、製造された堆肥が町内農家に活用され環境保全型農業が推進されている点を評価した。

#### ・株式会社レポインターナショナル

多くの自治体や民間事業者のBDF燃料利活用の取組に対して、技術面の協力、仕組みづくりなどソフト面の協力、原料・燃料運搬業務の実施等により大きく貢献している点、BDF燃料の普及活動も盛んに実施している点を評価した。

#### ・滋賀県甲賀市

密閉式ポリバケツの生ゴミ処理機の活用により、家庭生ゴミと刈草・剪定枝が堆肥化され、生産された堆肥は全て家庭生ゴミ堆肥化のサイクル過程と家庭菜園等に活用され、余剰堆肥が発生しない無理の無いバイオマス利活用システムを作り出している点。同時に家庭廃食用油をBDF燃料化、公用車輛で活用している点を評価した。

#### ・岡山県農林水産部

県の主導と支援により、県内の各種民間事業者を結びつけ、バイオエタノールの製造から自動車燃料としての利用に至る全ての過程を県内で実施する「完全地産地消型」バイオエタノールモデル実験を全国に先駆けて実施した点を評価した。

#### ・福岡県築上町

低料金の液肥散布を市が実施する等、液肥の円滑な利用を進める体制を整えたし尿・汚泥液肥化事業により、し尿・汚泥処理コストを50%削減し、農家における化学肥料の削減も同時に達成している点。液肥利用米を町内の学校給食等で利用し地産地消を実施しつつ、小学校において液肥利用米についての「液肥授業」を実施し、液肥利用米に対する児童の評価を向上させ、環境教育も実施している点を評価した。